



共創工学専攻(仮称)

令和8(2026)年4月に新設予定【設置構想中】



👑 設置の背景 👑

社会は大きく変化し、経済発展だけでなく様々な社会の要請に応える必要があります。そのためには、多様な「知」とともに多角的な「視点」が必要とされ、ジェンダーに関わらない多様な人材養成が必要となります。モノづくり、技術の創造、イノベーションには特にこの考え方が重要ですが、工学系分野では日本でのジェンダーギャップは極めて大きく、この解消が喫緊の課題となっています。

👑 設置の目的 👑

工学系での専門的立場における女性人材のニーズが高まる中、本学では令和6(2024)年度に「文化」「社会」の知を「工学」と協働させ、安全、安心、快適な社会のための技術の構築と技術を応用した文化の創造を目指す共創工学部を立ち上げました。この理念を持ちつつ高度な技術と知識、さらに実践力を併せ持ち、リーダーシップを発揮できる専門家を育成する高等教育機関として、令和8(2026)年4月に博士前期課程「共創工学専攻(仮称)」を設置します。

👑 養成する人材像 👑

多種多様な社会の要請に応えるために、

技術を探求する「工学」の専門知と「文化」「社会」の専門知、「データサイエンス」の専門知を幅広くかつ協働して学び、さらに社会との協働を通して実践する共創能力を有する人材を養成します。

👑 ディプロマ・ポリシー (DP) 👑

A. 共創能力〈発想力・発見力・デザイン力・対話力〉

幅広い工学と、人文学・社会科学の専門領域を協働させ、新しい技術や文化すなわちモノ・コトを工学的手法によって創造することができる能力

B. 専門力

自らの専門分野において高度な知識と技術、すなわち高度な専門知を修得し、その分野でリーダーシップを発揮できる専門家となりうる能力

C. 実践力

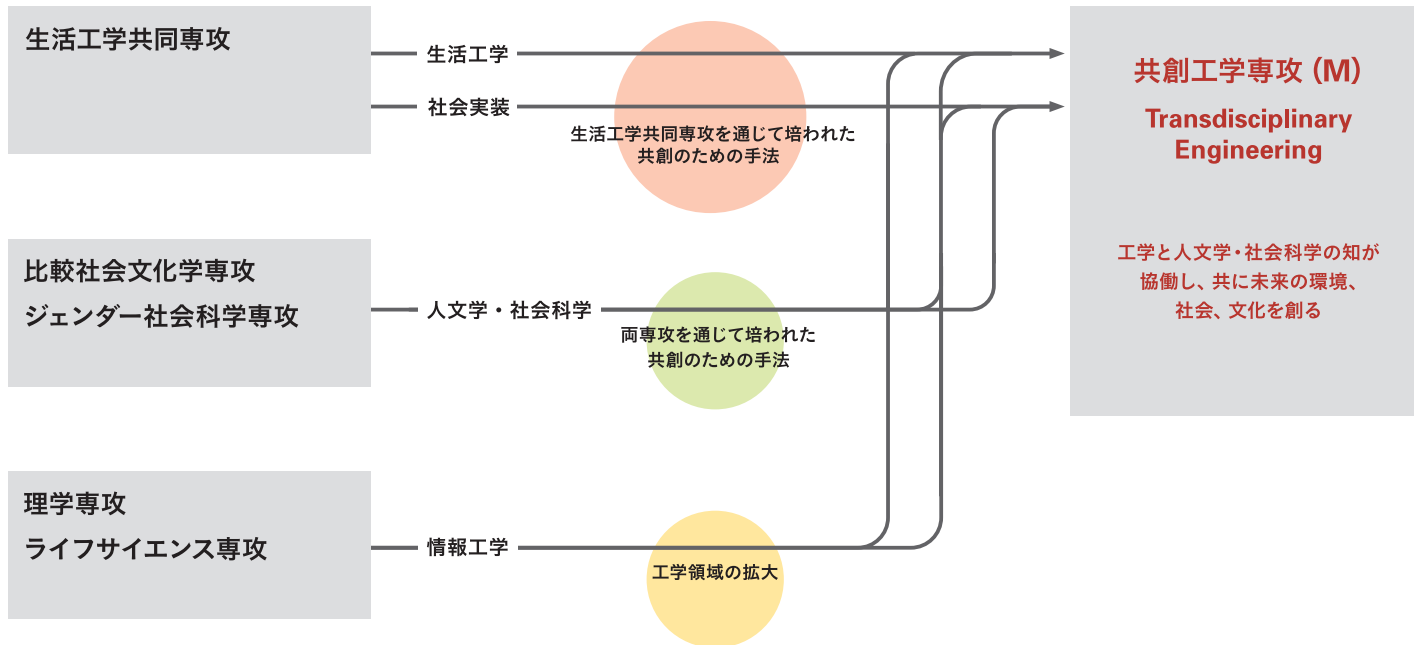
社会ニーズに対応でき、かつ修得した高度な専門知を社会実装させ、リーダーシップを発揮できる能力

👑 共創による工学分野の拡大 👑

本学の大学院には「生活のための工学」の理念のもと、共創のための手法を培ってきた生活工学共同専攻がありますが、この理念と手法を継承しつつ、ここに比較社会文化学専攻とジェンダー社会科学専攻で培われてきた人文学・社会科学分野の共創のための手法を導入します。加えてデータサイエンスなどを含む情報工学分野と協働し工学領域の拡大を図ります。こうして大学院 博士前期課程「共創工学専攻（仮称）」において、共創工学の理念のもと高度な実践的教育プログラムを実施します。

さらに令和10（2028）年度に博士後期課程の設置も視野に入れています。

お茶の水女子大学 大学院 人間文化創成科学研究科



👑 身につけることのできる専門分野 👑

3つのカテゴリー

共創工学専攻

文化情報

データサイエンス
文化情報工学
マルチメディア
データベース
舞踊と工学
建築史学
デザイン工学

文化情報

人文学・社会科学の専門知にデータサイエンスを協働させ、デザイン思考、文化創成を行います。

環境

地理情報学
地理学
水環境工学
建築環境工学
人間環境工学
設計デザイン

環境

持続可能な環境を実現するための技術およびシステム作りを行います。

人間

バイオマテリアル
生活機能材料
生活工学
認知科学
人間工学
健康科学
自然人類学
言語情報学

人間

人間の健康を向上させるために、生体機能に基づいたマテリアル／デバイス開発を行います。

●………… 各カテゴリーにおける育成する人材像と主な進路

文化情報

人文学・社会科学の多様な資料(テキスト、地図、画像、造形、音声、映像など)をデジタル技術によって収集・加工し、データサイエンスを応用して多角的に解析できるだけでなく、工学知(デザイン思考と技術)と結びつけ、新たな文化や価値の創造や課題解決を行う人材を育成します。

〈進路〉情報コンサルティング業、マスメディア、文化分野・教育分野の事業にかかわるデータサイエンティストや企画職、博物館学芸員など。

環境

気候変動と災害・少子高齢化など様々な状況下における社会と人との関わりの中から新たな課題を見出し、健康や福祉の面において安全安心で快適な環境を多様な人々に対し提案する人材を育成します。

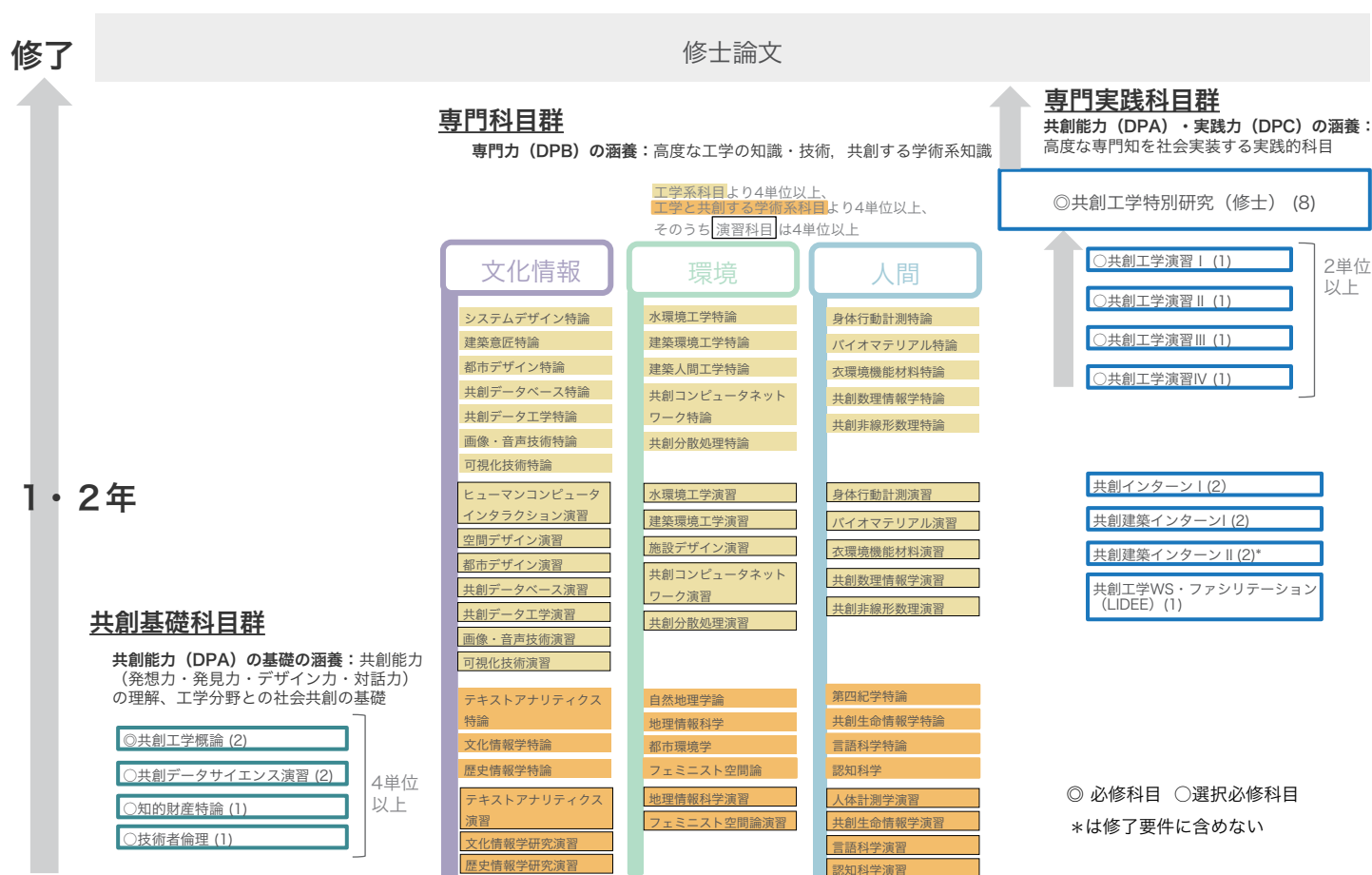
〈進路〉都市開発やまちづくり、地方再生の計画におけるデザイン職、建築デザイナー、行政職、一級建築士、研究職など。

人間

化学／生物系の専門知識を生かし、快適な空間を創造する材料／デバイス開発を通じて、多様な人々の生活の質を向上させるモノづくりやサービス開発を行う人材を育成します。

〈進路〉マテリアル系企業開発職、各種日常生活活動を支援する技術の開発、研究職、企画職など。

●………… カリキュラムマップ



●………… カリキュラムの特徴

- 「共創能力の基礎の涵養」 共創基礎科目群では、共創能力（発想力・発見力・デザイン力・対話力）を理解し、工学分野との社会共創の基礎を学びます。
- 「専門力の涵養」 専門科目群では、高度な知識・技術、共創する学術系知識を修得するため、工学系科目、工学と共創する学術系科目から学びます。
- 「共創能力および実践力の涵養」 専門実践科目群では、工学とデータサイエンス、人文学・社会科学とを高度に協働させ社会実装する実践的な実習科目・演習科目により、共創能力を培い、主体的・協調的な学びの態度や実践力を涵養します。
- 研究指導： 2年間を通じて、学生は自身の研究テーマに応じたカテゴリーの指導教員の研究指導を受けます。また他カテゴリーを含めた教員の中から副指導教員をつけることで多角的な視点での指導を受け、共創能力を養います。

～「工学系」および「工学と共創する学術系」の共創による研究事例～

- 東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷」駅より徒歩7分
- 東京メトロ有楽町線「護国寺」駅より徒歩8分
- 都営バス「大塚2丁目」停留所下車徒歩1分